

令和5年度

事業計画書

収支予算書

令和5年度
事業計画書
(令和5年4月1日)

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

令和5年度 事業計画

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

ここ数年間、社会活動に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルスによるパンデミックも、エンデミック（風土病）期に入り、社会活動も新しいステージに移ろうとしています。

しかし、コロナのエンデミックだけでなく、ウクライナ侵攻に端を発したエネルギー問題、世界から迫られるカーボンニュートラル、途絶えることのないインフレの波、労働力不足と人件費の高騰等々、私たち協会にも変革を求められています。

その為にも、今期の事業活動目標を、当協会の「パーパス」（存在意義）の再確認と再構築をする事を主眼において、以下の6項目を計画・実行をいたします。

1. 協会の提案・伝達能力の改善 『協会運営を論議できる環境づくり』

(1) 全体会の開催

前期まで予定に沿って、常務会・理事会を行ってきましたが、非理事会員からの意見聴取並びに情報伝達が行われていない状況でした。又、理事会自体も進行ありきになり、各会員から意見を汲み上げ論議できる運営になっておりませんでした。

その為、今期より 非理事、各正会員事務局長も出席いただき、会員企業の意見・課題の論議ができる「全体会」を開催いたします。ボランティアのその名に恥じない「自主的な」協会運営を行っていきます。

第1回	理事会・全体会	4月12日	東京国際フォーラム及びオンライン
第1回	常務会	5月11日	協会事務所およびオンライン
第2回	理事会	〃	〃
第3回	理事会・全体会	9月7日	東京国際フォーラム及びオンライン
第4回	理事会・全体会	11月29日	〃
第5回	理事会・全体会	3月7日	〃

各正会員参加率 理事会80%、全体会70%を目指します

(2) チェーン運営にとって参考となる正賛研究会の企画実施

今、各会員の課題に即した、研究会テーマを 主題にした魅力ある研究会を企画実施いたします。

第1回	正賛研究会	4月12日	東京国際フォーラム及びオンライン 「コスト高の今改めて考える価格の考え方とは」 プライシングスタジオ(株) 取締役 COO 相関 集氏
-----	-------	-------	---

以後 各会員の要望を集めて、年間4回の開催を計画します。

(3) 総会・全国大会の実施

第58回通常総会、第57回全国大会

6月1日(木) 東京ドームホテルにて リアル開催にて実施

記念公演 「消費と流通の今捉え、先を読む」 拓殖大学 根本名誉教授

(4) 新春賀詞交歓会の開催

1月16日(火) 東京ドームホテルにて リアル開催にて実施予定

記念公演 未定

2. ボランタリーチェーンの広報活動の見直し

(1) 協会のパーパス（存在意義）の再確認

まずは、「社会環境が変化をする中で、会員である各チェーンから当協会が求められているものは何か、メリットを出すために行うべきことは何か？」を、タスクチームにて下記2項目と合わせて検討を行い理事会・全体会を通して会員への周知を行います。

(2) パーパスとして行うべき事業体制構築

強化すべき事業・見直しすべき事業・休止すべき事業を、1から再度見直しを行います。その中で存続事業の強化できる体制の構築を1年かけて行います。

(3) あるべき広報活動の提案

事業自体の変革を行った上で、そのメリットを、広報するためには、その広報ツールも見直しが必要と求められます。以下のそれぞれのツールについて見直しを行います。

- ✓ VCフォーラム
- ✓ 機関誌
- ✓ ホームページ
- ✓ その他新しいツール

3. 人材育成のための教育研修

(1) リテールマーケティング講座

会員企業の人材育成のために、新しく「リテールマーケティング講座」を開催する。プログラムは、スーパーバイザー養成講座をリニューアルし、小売店サポートに必要な知識と技能を習得するための内容にて3期制で開催する。会員企業が参加しやすいように各期のみの受講も可とする。

募集人数は30名。

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 第1期：流通業の最新動向と販売促進 | ／7月27日(木)～28日(金) |
| 第2期：小売業を取り巻く環境変化と店舗戦略の策定 | ／9月21日(木)～22日(金) |
| 第3期：財務諸表の見方と小売店の経営分析 | ／11月20日(月)～21日(火) |

(2) 次世代リーダー育成セミナー

今期計画しておりましたが、実施対象者、実施カリキュラム、実施期間、受講料等、会員間の検討・確認が不足し急遽中止といたしました。しかしながら各チェーンにおいてはリーダーの育成は、大きなテーマであり避けることができない課題です。つきましては今期、全体会を通してより良い実施の検討・企画を行います。会員の皆様にはご意見を賜りたく思います。

(3) セキュリティセミナー

一昨年から急激に増加した「Emotet」は、インターネットの利用は不可欠な、私たちのビジネスに大きな被害を及ぼす可能性があります。現に大手企業や病院など、その被害がニュースに幾度となく上がっています。そんな中で「私たちはどのような対策が必要か」を起きているインシデントのユースケースから学びたいと思います。

対象者を社内のネットワーク、セキュリティ管理をする総務部門、情報システム担当の方とし全4回で開催いたします。

- | | | |
|-----|-------|-------------------------------|
| 第1期 | 5月17日 | 法人におけるインシデントの事例と対策（外部からの攻撃） |
| 第2期 | 7月6日 | 法人におけるインシデントの事例と対策（システム上のリスク） |
| 第3期 | 9月14日 | 社員におけるインシデントの事例と対策 |
| 第4期 | 12月7日 | 個人情報保護法などコンプライアンスの対策 |
- 講師は一般財団法人日本情報経済社会推進協会にお願いしています。

4. ボランタリーチェーンに関する調査研究（公益目的支出計画対象事業）

（1） ボランタリーチェーン実態調査の実施

例年実施しているボランタリーチェーン実態調査を8月に実施する。
昨年度は調査対象企業187社のうち71社から回答を得ました。調査結果は機関誌「Voluntary Chain」11月号に掲載いたします。調査に留まらず、協力頂いた非会員に対し広報事業の見直しタスクチームと共同して会員拡大に繋げる。

5. 時節に対応した会員共有会議

変化の激しい時代の中で、各チェーンの喫緊の課題に対して同様の課題に直面している会員間で、問題点や改善策の共有を行い、課題の改善に努めたい。

（1） 2024年問題会議

私たち流通業・サービス業にとって物流の2024年問題の影響は、その大小の差はあるが、経営に大きなインパクトを与えます。9月を各チェーンで対応計画を目標とする。

第1回 4月27日 6チェーン参加 「2024年問題 影響と対処」
各チェーンの現状の課題と対策

第2回 6月下旬を予定 現状のドライバー拘束時間の確認と対策

（2） 節電セミナーの開催

昨年度も行いました「省エネセミナー」を、電力消費の増加する夏前に向け計画をしております。オンラインで行いますので、是非、各チェーン加盟店様にもお声掛けいただきますようお願い申し上げます。6月中旬から7月初旬を予定

6. 収益性と生産性の向上

常勤役員の減員もある中で、上記に上げた事業を遂行するためにも安定した協会経営が必要になります。その為、以下の3項目の内部改革を実施します。

- ① 管理会計の実施 月次会計と発生主義会計へ変更
- ② 職員の目標管理 評価制度導入と権限譲渡
- ③ 安定的収益確保 酒類販売管理事業の拡大（前年比105%）

一般社団法人日本ボランティアチェーン協会 令和5年 主要会議・セミナー日程										
	日	曜日	時間	総会・賀詞交歓会 理事会・常務会		日	曜日	時間	その他セミナー等	
会場				(V)協会会議室 (国)東京国際フォーラム (ド)東京ドームホテル						
4月	12	水	12:30	第1回理事会(国)		12	水	15:00	第1回正賛研究会(国)	
			13:30	第1回全体会(国)					部会については随時開催 (ペイメント、情報)	
						27	木	10:00	2024年問題会議	
5月	08	月	11:00	監事会(V)						
	11	木	12:30	第2回理事会/決算(V)	決算・改選 総会付議	17	水		第1回セキュリティセミナー	
6月										
	01	木	14:00	第58回通常総会(ド)						
			15:00	第57回全国大会(ド)						
7月						06	木		第2回セキュリティセミナー	
									リテールマーケティング 第1期 7/27-28	
8月										
9月	07	木	12:30	第3回理事会(国)		07	木	15:00	第2回正賛研究会(国)	
			13:30	第2回全体会(国)						
						14	木		第3回セキュリティセミナー	
									リテールマーケティング 第2期 9/21-22	
10月										
11月									リテールマーケティング 第3期 11/20-21	
	29	水	12:30	第4回理事会(国)		29	水	15:00	第3回正賛研究会(国)	
		"	13:30	第3回全体会(国)						
12月						07	木		第4回セキュリティセミナー	
1月										
	16	火	14:00	新春賀詞交歓会(ド)						
			16:00	懇親会(ド)						
2月										
3月	07	木	12:30	第5回理事会(国)		07	木	15:00	第4回正賛研究会(国)	
			13:30	第4回全体会(国)	次年度 事業計画					
VCフォーラムの日程は未定、VC交流セミナーについては開催未定 政策研究会については、役所から連絡が入り次第開催										

令和5年度
収 支 予 算 案
(令和5年4月1日)

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

(単位：円)

科目	令和4年度実績	令和5年度予算
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 受取入会金	70,000	260,000
受取入会金	70,000	260,000
② 受取会費	33,858,000	33,980,000
正会員受取会費	14,053,500	13,400,000
準会員受取会費	120,000	0
賛助会員受取会費	17,360,000	17,680,000
部会等受取会費	2,324,500	2,900,000
③ 事業収益	67,777,566	71,432,000
広報事業収益	6,698,834	6,700,000
教育研修事業収益	4,892,250	4,614,000
酒研修(許認可)事業収益	56,186,482	60,118,000
④ 雑収益	340,940	120,000
受取利息	700	0
雑収益	340,240	120,000
経常収益計	102,046,506	105,792,000
(2) 経常費用		
① 事業費	72,446,099	66,751,000
広報事業費	12,053,278	9,757,000
人件費	4,268,176	0
諸経費	7,785,102	9,757,000
調査事業費	508,715	224,000
人件費	222,965	0
諸経費	285,750	224,000
教育研修事業費	5,295,725	7,437,000
人件費	891,858	0
諸経費	4,403,867	7,437,000
酒類販売管理事業費	54,588,381	49,333,000
人件費	15,177,476	8,762,000
諸経費	39,410,905	40,571,000

一般社団法人 日本ボランティアチェーン協会

科目	令和4年度実績	令和5年度予算
② 管理費	33,244,233	38,059,000
人件費	13,600,830	9,799,000
役員報酬	6,830,292	3,333,000
給料手当	3,835,597	3,200,000
雑給	1,134,112	2,228,000
退職給付費用	0	0
法定福利費	1,800,829	1,038,000
諸経費	19,643,403	28,260,000
総会費	1,810,509	0
賀詞会費	2,107,829	0
定例会費	1,469,823	0
会場費	0	7,400,000
会議費	182,629	2,155,000
旅費交通費	1,382,185	1,200,000
通信運搬費	719,317	900,000
消耗品費	589,017	600,000
印刷製本費	0	90,000
新聞図書費	181,000	84,000
光熱水料費	160,880	210,000
賃借料	2,255,332	2,773,000
報酬手数料	1,190,200	1,206,000
諸謝金	3,022,274	3,622,000
福利厚生費	265,426	240,000
中小企業退職金共済	96,000	96,000
租税公課	575,852	410,000
支払手数料	699,769	4,084,000
リース料	1,007,686	1,140,000
研修費	0	0
保守料	312,280	390,000
諸会費	1,284,875	1,300,000
減価償却費	0	0
交際費	90,300	120,000
雑費	240,220	240,000
退職給付引当金繰入額	49,075	300,000
役員退職慰労金引当金繰入額	4,821,250	300,000
経常費用計	110,560,657	105,410,000
当期経常増減額	△ 8,514,151	382,000
固定資産受贈益	0	0
退職給与引当金取崩額	0	0
税引前一般正味財産増減額	△ 8,514,151	382,000
一般正味財産増減額	△ 8,514,151	382,000
一般正味財産期首残高	43,146,916	34,632,765
一般正味財産期末残高	34,632,765	35,014,765
II 正味財産期末残高		
正味財産期末残高	34,632,765	35,014,765